



2022年3月号

ロータス東海の ちいらしっこ通信



今月のちいらしっこ通信

【加齢を誇る生き方】

十五歳のとき始めたモデルの仕事が半世紀以上続いていたメイ・マスクさん(アメリカ)。年齢とともに増える白髪を染めながら活動するも、若いモデルに仕事がとられメイさんになったとき、意を決して髪の毛を染めるのをやめた。

真つ白になった頭をはじめて公開したところ二年後に『ニューヨーク・マガジン』誌の表紙に選ばれた。それが転機となり、白髪のメイさんは仕事が増えた。ついに六七歳でニューヨーク・コレクション、二〇代のモデル達にまじってランウェイを歩いた。さらには六九歳のとき、コスメブランドのカバーガールにも選ばれている。

彼女はしみじみと言う。「信じられる?白髪のままであることがスーパーモデルになる秘訣だなんて…。初めてランウェイを歩いたのは十五歳。十八歳になったらもう終わりだと言われていた世界でこんなに長くモデルを続けられるなんて。しかも七十二歳で最盛期を

迎えるなんて、考えたこともなかった。でもまだスタートしたばかりよ」

彼女はこう続ける。「私が六〇代になった時、人々は年を取ることに、そしてその恐怖について話し始めた。でも私は、『なぜ年を取ることが怖いのか?』と言っていた。もし、誰かがあなたの年齢にネガティブな気持ちを抱かせるのであれば、さような人とは言いません。そのような人は、あなたの人生に必要な人でしょ」

加齢を誇ろう、少なくとも恥じる必要は毛頭ない。それを教えてくれたモデルのメイ・マスクさん。どこか変わった名前だし、聞き覚えがあると思つて調べてみた。何とテスラのイーロン・マスク氏のお母さんだと知った。この母にしてこの子ありと得心がいった。



72歳、
今日が人生最高の日

人と地球と車にやさしい思いやり(SDGs)

SDGsが目指すものは5つに分けられる

SDGsを理解するためには、「5つのP」で考えると十七の目標が整理され、理解しやすくなります。5つのPを簡単にまとめると以下のようになります。

① People (人間)

すべての人の人権が尊重され、平等に。貧困と飢餓を終わらせ、ジェンダー平等を達成し、すべての人に教育、水と衛生、健康的な生活を保障する。

② Prosperity (豊かさ)

すべての人が豊かで充実した生活を送れるようにし、自然と調和する経済、社会、技術の進展を確保する。

③ Planet (地球)

持続可能な消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急対応などを通じて、地球の劣化を防ぐことにより、現在と将来の世代のニーズを支えられるようにする。

④ Peace (平和)

平和、公正で、恐怖と暴力の

ない、すべての人が受け入れられ、参加できる包摂的な世界を目指す。

⑤ Partnership (パートナーシップ)

世界の人々の連帯強化の精神に基づき、グローバルなパートナーシップにより実現を目指す。SDGsは、誰か一人が頑張っても達成できません。一人よりたくさんの人、ひとつの国よりたくさんさんの国といったように、全世界の人々のパートナーシップがSDGs達成にとって不可欠です。



5つのPとは?

ロータスクラブはCO2削減に取り組んでいます



【頭の体操:今月のなぜなぞ】 ①お宮を応援しながら飲むジュースって何? ②自分でダブル回ってる本ってどんな本? ③明け方にとでもイヤな奥イガする東京の名所ってどこ? ④おじいちゃんとか球技って何? ⑤指ったのにお金を払わないといけないものって何?

ちかちゃんの

世界の有名レース

モナコグランプリ

モナコグランプリは、モナコ公国で行われる世界でも格式の高いF1世界選手権レースの一戦です。インディ500、ルマン24時間レースと並び「世界3大レース」の一つであり、伝統と歴史のある一戦となっています。

モナコ公国の人口は3万人ほどにも関わらず、開催されている期間には、20万人の観客が訪れ、レースを楽しみます。モナコ公国内の公道に設置されたモンテカルロ市街地コースで行われます。このレースは、モナコ公国内で行われるということもあって、多くのセレブリティが観戦する一戦としても知られています。

市街地内にコースが設置されていて、自分のクルーザーや、高級ホテルやマンションのバルコニーから観戦するセレブリティも数多くいます。モナコグランプリはモナコ公国の王室も観覧する御前レースとなっており、それもモナコグランプリをより格式のある、特別なレースにしている要因であります。

表彰台では、モナコ公国の王室からトロフィーを受け取ることに、非常に栄誉のある表彰台となります。



まりちゃんの

大人の趣味時間

庭やベランダで野菜や果物を栽培する家庭菜園は、自分で育てたものを美味しく食べる喜びが最大のテーマですが、軽い農作業で運動不足解消ができ、土に触れることのセラピー効果が大きく、うつ病対策に医師から勧められることもあります。家庭菜園は心身ともに満たされる健康的な趣味と言えます。

ネギ、シソ、もやし、カイワレ大根等はキッチンでも、トマト、きゅうり、なすなどはプランターでも気軽に栽培できます。プランターで作れる作物を種まきの季節ごとにご紹介します。春(3~6月)は、枝豆、オクラ、バジル(3~6月)は、枝豆、オクラ、バジル。枝豆は家庭菜園で栽培すると甘みが格別に違いますし、鮮度が命のオクラは家庭菜園でこそ収穫し立てを食べることができます。バジルは様々な料理に活用でき、自宅で栽培されるハーブとしてとても人気です。夏(7~8月)は春菊、小松菜。春菊は間引きをしながら大きく育てているものを残すのがポイントで、間引きした春菊ももちろん食べられます。11月ごろに本格的に収穫ができるようになります。小松菜は種まきから約1ヶ月ほどで収穫ができます。秋(9~11月)ミニ白菜、リーフレタス。ミニ白菜はまず苗になるところまで育て、その後大きめのプランターに植え付けをしましょう。定植してから40日ほどで収穫ができます。リーフレタスは種まきから収穫までが約2ヶ月と比較的早く、小さなプランターでも栽培ができるので初心者の方におすすめです。



かとちゃんの

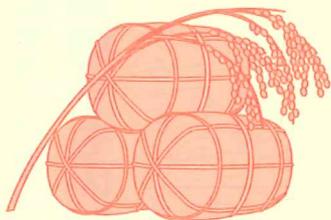
鎌倉時代の生活文化

お米と権力

「武士は食わねど高楊枝」という言葉。この言葉から、武士は質素な生活を送っていたイメージが伝わってきます。鎌倉時代から始まった、武士政権は「質実剛健」がモットーでした。最近では農業を行う若者も増えているようですが、現在の日本はお米の需要が減少。農家の後継者問題や減反政策などで減少しているため、お米の生産も減ってきています。

弥生時代は、お米はお腹を満たすと同時に給料や通貨代わりでもありました。より多くのお米を手にするため土地を奪い、農作業に従事する人々を作る必要が出てしまい、強い者が武力を持ち、争いや格差を生み出したのです。

それ以来、お米と土地は権力の象徴となりました。最初にその力を持った者は、大和朝廷から始まる天皇。その後、公家や貴族達も自分用の土地を持ち、仏教が力を持つてからは僧が力を持ち、そこを守る武士達が、いつしか土地を奪う人達になったのです。日常的にお腹一杯お米を食べられるようになったのは、昭和の後半に入ってからと言っても過言ではありません。



We are Professional. ロータスクラブ加盟店

(株) 東海自動車

〒036-8061 青森県弘前市神田1-5-4

TEL: 0172-33-7700

FAX: 0172-32-7171

発行人: 福士 幹規

日曜・祝日も元気に営業中です!!

「め〜コーヒーまだ飲みに来てね〜人はえぐ来いへ〜」

特典いっぱい「友の会」会員募集中です。

マイカーリースも好評受付中!!

営業時間 8:30~17:30

定休日:第1・3・5の日曜日はお休み